



私達はキリスト教精神に基づき、
世界の困難な状況にある子ども達を支援する NPO です。

Merry Christmas !



メリークリスマス！！

いつも a cup of water をとおして、タイ・カンボジアの子ども達をご支援下さり、
本当にありがとうございます。

様々な危険から子ども達が守られ、健康に育ち、教育を受け、将来の夢に向かって生きている姿を
目にする事は大きな喜びです。このニュースレターでは子ども達のたくさんの笑顔とともに、
現地の様子をご報告いたします。また a cup of water として活動をはじめて4年半が経ちますが、
多くの方が温かい思いをもって、得意分野を活かし、この働きを支えて下さっています。

a cup of water を支えているスタッフや皆様の思いにもスポットライトをあてて、ご紹介したいと
思います。a cup of water がタイ・カンボジアの子ども達と日本の皆様をつなぐ架け橋になってい
くことができますように・・・。



a cup of water のリーフ
レットができました！ ⇒

〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井4丁目23-24
ニューライフキリスト教会内

TEL&FAX 075-962-4249

E-mail info@acupofwater.jp

HP <http://acupofwater.jp>

Blog <http://acupofwater.sblo.jp>

a cup of water 支援？

現地と皆さんをつなぐたい

支援者の皆様

皆さんの継続的サポートが命です

会員の約70%を現地へ

継続会員	一般会員	学生会員
15000円/年	6000円/年	3000円/年

※2012年12月1日～2013年11月30日まで有効です。

※年会費は必ずお支払いください。

※年会費をお支払いいただいた方には自動的に年会費が引かれます。

※年会費をお支払いいただいた方には自動的に年会費が引かれます。

※年会費をお支払いいただいた方には自動的に年会費が引かれます。

※年会費をお支払いいただいた方には自動的に年会費が引かれます。

※年会費をお支払いいただいた方には自動的に年会費が引かれます。

※年会費をお支払いいただいた方には自動的に年会費が引かれます。

特別非営利活動法人 a cup of water

～ひとしずくが大きな力に～

2012年3月21日(水)～27日(火) タイ ハッピーホームを訪ねる旅 現地のご報告



タイのハッピーホームの子ども達には山岳少数民族出身の子どもが多くいます。私たちは、オーウェン君(写真右下)の出身の村である「アカ族」の村を、数人のハッピーホームの子どもとともに訪ねました。おおよそ60世帯の人々がこのタイ奥地で生活しています。

村の子ども達を集めて、集会のひとつときを持つことができました。集会をリードするのは、ハッピーホームの子ども達です。オームちゃん(写真左上)が前に立ち、別の男の子がギターを弾き、村の子ども達に歌と歌に合わせた手遊びを教えます。

お菓子をプレゼントしたり、粘土やバルーンアートなどで遊んだり、子どもや民族衣装の女性も一緒になって楽しいひと時を過ごしました。この機会を活かして、子ども達の手を石鹸で洗い、爪を切ってあげ、ヘアクリームをつけてノミの駆除(写真左下)をしたり、歯ブラシやタオルをプレゼントしたり、子ども達の衛生改善に少しでも助けになることができたのは感謝でした。

ハッピーホームの子ども達が、このように他の人のために働く姿を見て、大きな感動を覚えました。困っている人と分かちあい、助ける心が子ども達の中にしっかり養われているのです。



～ MKさんのお話 ～

(写真右：MKさん 写真左：アカ族の村)

♪手にしているのは国際奉仕団体「キリストが芦屋」様寄贈のドール

MKさんは現在37歳で、ハッピーホーム（チェンセン）のスタッフです。
上手な英語を話すMKさんが、彼の人生について話を聞かせてくれました。

「私はハッピーホームで育ちました。少数民族アカ族の村出身です。家は大変貧しく、私が7歳だった時、実の兄が私をラー族に売ったのです。幼い私は2頭の水牛を世話するしもべとして、学校に行くこともなく、働いていました。
ある日、私は救い出され、ハッピーホームへ保護されました。
私は学校に通うようになり、はじめてタイ語を学ぶこともできました。神様が私を助けて下さったのです。その後、私の兄は困窮し私の元に助けを求めてやってきました。彼は私を売った張本人ですが、私は彼を許し、助けてあげました。
私の人生はまるで、聖書に記されているヨセフの生涯のようです。」

参加者の感想

①



私は今回タイのハッピーホームに行って、
目には見えない大切なものをみる事ができました。

ハッピーホームの子達は本当に優しく、すぐ誰かに気がつかえて、誰かが困っていたら、すぐに助けにいき、すごく思いやりがあって、とても笑顔がキラキラしていました。私はその子達をみたとき、この子達のように誰かに自然に優しくできたらいいなって思いました。

私は今回初めての海外だったんですけど、海外でしかみられないものを見ることができました。本当にいい経験をさせてくださった神様に感謝しています。

森本 めぐ美(高1)

参加者の感想 ②

今回は山岳地帯で暮らすアカ族の村も訪れました。その村には電気が通ってなくて、夜になると真っ暗でした。その夜に子供たちを集めて集会をしました。子供たちは暗闇の中、歌を歌いながら楽しそうにやってきました。言葉は通じなかったけど名前だけはすぐに覚えてくれて、嬉しそうに何回も何回も呼んでくれました。ここでもみんな凄くキラキラ輝いていました。生活は不便で、食べていくだけでも大変そうなのに、心は豊かだと思いました。



最後の日は、チェンライからバンコク行きの飛行機を待っている間、電車に乗ってお土産を買いにデパートに行きました。昼は人混みであふれていたのですが、夜はまた雰囲気の違い、物乞いをする人もいました。だけど一番衝撃的だったのは背は3歳くらいの子供が上半身はだかで歩道橋の階段で物乞いをしているのを見たことでした。この旅で私は初めてまのあたりしました。しかし全世界には数え切れない程いるという現実を実感しました。私たちは今、なに不自由なく暮らすことができます。その一方で、食べるだけでも必死になって生きている人たちがいます。その人々のために私たちにも何かできることがあります。みんなが助けあえば、この世界に笑顔が溢れると思います。



写真は西元あゆみさん@ハッピーホーム

西元 あゆみ(専門学校生)

○カンボジアのスラムに佇む
子供の写真を撮った時

『見る』

私は彼を見た

笑ってほしい

彼は決して笑わない
決して逃げない

眉間にしわをよせ
ただファインダーを
じっと見つめる

あなたが僕に何をしてくれるの？

彼は私を見た

写真を沢山撮って帰る外国人
そんな風に見えるのかな

彼は笑わない、逃げない
じっと私を見る

彼らの事
忘れて生きていく事もできる

どちらにする？

私はわたしを見た

彼の目を覚えてる、そう決めた

(山川 直子 作)

2012年4月28日(土) タイ・カンボジア サポートナイト を開催しました！



4月28日(土)、神戸・三ノ宮にあるタイレストラン「チャダタイ」にて、支援者を募る、ライブイベントを行いました。小出 野夕梨さんの心に響く弾き語りとともに、タイ・カンボジアの人身売買の現状とハッピーホームの働きについて、お話しをさせていただきました。「チャダタイ」の店長澤村さんが活動に共感してくださり、今回のイベントが実現しました。チャダタイの皆様、本当にありがとうございました！



タイ・カンボジアサポートナイトで歌わせて頂きました、小出 野夕梨(こいで のゆり)です。タイ料理レストランでのイベントということなので、タイ語での歌にも初挑戦しました。ピアノでの弾き語りにぴったりな歌が見つかり、楽しく練習に励むことができました。本番ではタイ語で2曲、英語で1曲、そして日本語で2曲歌いました。

タイ語の歌は可愛らしいものと少し切ない感じのラブソングを、英語と日本語の歌は、イベントの合間のトークに沿った内容のものを選びました。英語の歌は「Still」というタイトルで、神様と共にいるならば、どのような状況でも守られ心が安らいでいられるという内容です。日本語の歌のうちの1曲はオリジナルの「羽根を忘れた天使」です。ダウン症と自閉症を持って生まれてきた私自身の姉のことを書いた歌です。そして最後の曲は韓国で生まれた曲、「君は愛されるため生まれた」です。この世に存在する一人一人の命がどれだけ尊いか、という深いメッセージが込められた歌です。今回、大好きな音楽を通してこのイベントに携わることができ、心から感謝に思います。応援して下さいました皆様、本当にありがとうございました。

小出 野夕梨



タイ少数民族の民族衣装を着て歌う野ゆりさん♪

野ゆりさんの歌はレストランの中を流れてました。満席で皆さん思い思いの食事をしていましたが、きっと写真や歌やメッセージはお食事と一緒に吸収されていたのではないのでしょうか。勇気のいるイベントでしたが皆さん素晴らしかったです。感想：福原 みどり

a cup of water の理事、
森本 彼武さんに、
働きへの思いを語って
頂きました！！



私には小さい頃、こころに思い描いてたことがありました。もし自分が大人になったら孤児を引き取って養子として育てたい、できれば孤児院を作りたい。そんなことを周りの人には言わずに一人思いめぐらしていました。残念ながら実際にはそのようなことは実現できず今に至っているのですが、a cup of water はそのような私にとってその思いを違う形で実現できる存在になっています。直接孤児たちを育てることはできないのですが、その働きをしておられるハッピーホームの一部に、小さいかもしれませんが関わることができていることに喜びを覚え、

自分が直接何かをできなくても、今の自分で可能な、別の方法で参加することができる a cup of water の存在に感謝しています。私は、今年の4月、タイ料理店でのイベントで会場に流す DVD の制作を担当させていただきました。お店に来られる方に、タイ、カンボジアの現状、ハッピーホームの存在や働きをどのようにして伝えるべきか、アイデアを映像にしていきました。その制作の過程で何度も子供たちの写真を眺めることになったわけですが、そこで改めて子供たちの笑顔に魅せられてしまいました。この笑顔をもう一人、さらにもう一人と増やしていきたい。そんな思いを強くされた制作のひとつときでした。今回の映像を a cup of water の働きの紹介用にも使えるように編集をする予定です。皆さんにも広く活用していただけたらと思います。 森本 彼武

「なんとかして、支援の輪を広げていきたい…」

どうすればいいのか？ そんなことを考えている時、私の中に、在日のタイの人たち、カンボジアの人たちに協力を呼びかけてみようという思いが持ち上がってきました。

真剣に話を聞いてもらえるかもしれない…

どんな結果になるか分からないまま、私は自分の住む神戸の街のタイ料理店のドアを一軒ずつ回って行ったのです…。

イベントは、支援者の輪を広げていきたいという純粋な願いから始まりました。そして、ひとつひとつの行動に迷いと戸惑いを感じながら、祈りをもって行動したのです。今回のイベントでは、目に見える成果を受け取る事はあまり出来ませんでした。それでも、a cup of water が、一歩踏み出せたというさわやかさが残るような時になりました。

(写真:支援を訴えかける福原さん)

そして、反省点と同時にぼんやりと希望の光が見えた思いでした。このイベントを通して、ハッピーホームに関わっておられる現地のスタッフやローズさんの苦労を、垣間見たような気がする意義のあるイベントになったと感じています。理事 福原 正孝

タイ・カンボジアに生きる子ども達を支援しよう

a cup of water presents
タイ・カンボジア
Support Night

4/28(土) at CHADA THAI(チャダ タイ)入場無料
※神戸を代表するタイ料理の名店

Time Table
18:20~ first
20:00~ second

※2部とも同じ内容です。

当日特典
17:00~22:00
全ての商品(お食事、お飲み物)が10%Off!

歌(歌ゆい)、映像で
お届けする被災地の現状を
お食事を楽しみながらご覧下さい



6/2神戸のCAFÉ CHAMONのフリーマーケットに参加し、売上の一部を寄付しました。



a cup of water としてはリースを出品し、私の友人2人が作品を出品してくれました。作品や想いについて紹介させていただきます。

フリーマーケット企画者：山川

三瀬 彩さん（絵、ポストカード）①作品の紹介と想いをお願いします

自然や生命を讃えたいと思い、有機的な表現で描いています。現在の抽象作品は、例えば花や森や水の流れを見たときに感じるような、言葉にできない”感覚”を呼び起こす表現を試みました。



(左2つの絵を寄附下さいました)

②タイ・カンボジア子供達へどんな想いがありますか？

10年程前、タイやカンボジアへバックパッカーとして訪れ、沢山の子ども達と駆け回って遊びました。アンコール・ワットでスケッチしていた時、子ども達に鉛筆をせがまれましたが、鉛筆が足りず、代わりに一人一人に似顔絵を描いたら、とても喜んでくれました。観光客目当てに物乞いのように暮らす彼らでしたが、そのいきいきとした強い瞳、子供らしくのびのびと弾ける笑顔が大好きで、憧れのようにずっと心に残っていました。

③作品寄附や売上一部の寄附やフリマについて

寄附した作品は、子ども達の笑顔を思いながら描きました。また、もしも感情さえ感じなくなってしまう程の経験があれば、ちょっとでも感じる心を取り戻して貰えたらと思います。販売や売上一部の寄附によって、作品を介して、子ども達へより多くのまなざしと支援を、買って下さる日本の方々にも距離を超えた共感を届けられると、希望を感じ、参加できる事に感謝しています。

荒川 恵美子さん（アクセサリー）

①作品の紹介と想いをお願いします

かわいい要素が入っていて、どちらかというとシンプルな服にアクセサリーがポイントになるようなそんな感じが好きです。そういうのを意識してわりとカラフルな方に進んでいきたいと思っています^^アクセサリー作りは趣味で始めた事だったのですが、作品を置いて頂き、こういう形で繋がりができることをすごく嬉しく思っています。

②タイ・カンボジアの子ども達へどんな想いがありますか？

山川さんから話を聞き、協力したいという想いから始まりました。クリスマスプレゼントのお礼にタイ・カンボジアの子ども達から写真つきのお手紙を頂いた時は、私もすごく嬉しく沢山の純粋なパワーを貰えました。

③売上一部の寄附やフリマについて

作った作品をフリマで置かせて頂く事は私もすごく嬉しい事だったので、感謝しています。また是非参加したいです(^-^)



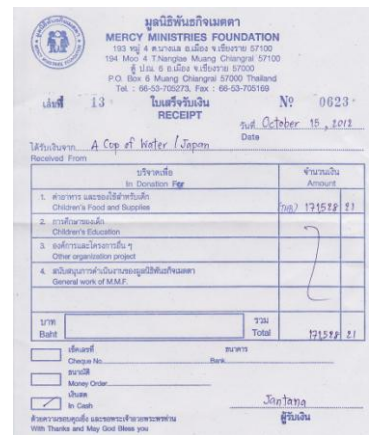
お客さんが作品に感銘を受け、買う事によって作り手が励まされるという所が手作りマーケットの醍醐味ですが、それがさらに子供達とも繋がり、貢献しているのはさらに良い事だと思ったのです。手作りの楽しさ、作品の良い雰囲気を感じて、お客さんも気軽に参加してもらえたらと思います。フリーマーケットでの売り上げは微々たるものかもしれませんが、少しでも多く現地で役立つお金を持って行けたらと思っています。

フリーマーケット企画者:山川 直子

♪ その他にも、売り上げの一部を寄付して下さっている
手作りアクセサリ作家の方がいます。

【ご報告】

10月にハッピーホームへ45万円の送金を行いました。ハッピーホームの経済状況は厳しく、時に最後の数ドル・数バーツを生活のために使わなければいけないと聞きます。皆様のご支援が子ども達の生活・教育の大きな支えとなっています。本当にありがとうございます。(写真はハッピーホームからの領収書)



← 「皆様の上に神様の豊かな祝福がありますように。」

ハッピーホームのローズさんと子ども達からクリスマスカードが届きました！！

ハッピーホームを訪ねる旅

2013

日程 2013年8月10日ごろ(約5日間)
来年はカンボジアのハッピーホーム訪問を計画しています！！ 参加者大募集中です★
ハッピーホームだけでなく、スラム地域のプレスクールの訪問と子どもとの交流も予定。
多くのことを感じ、考えさせられ、また行動する機会を与えてくれる旅です。



a cup of water の新ロゴが誕生しました
聖書のことばに由来し、
「コップ一杯の水を子ども達に届けたい」
という思いから、水のイメージ

×

日本にいる一人一人ができることを持ち寄り、
タイやカンボジアの方と手に手をとって協力するイメージ。

温かいロゴですね！